

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

| | | | | | | |
|----------|---|---|-----------|------------------|---------|-----------------------------------|
| 提出区分 | 実績 | 整理番号 | 11 | 課題区分 | C | 令和4年3月8日 |
| 横断的な課題 | 交通軸の整備による人と物の移動を活かした郷土づくり | | | | | |
| 地域重点政策 | 中山間地域の魅力向上 | | | | | 松本地域振興局 |
| 実施機関 | 松本農業農村支援センター(農業農村振興課)・商工観光課 | | | 担当課 | 所属 | 農業農村支援センター、商工観光課 |
| 事業名 | 信州旅の宿フルーツでおもてなし事業 | | | | 電話 | 40-1916 |
| | | | | | E-mail | matsumoto-nosei@pref.nagano.lg.jp |
| 事業の概要 | 目的 (目指す姿) | Withコロナ、Afterコロナにおいて、新型コロナウイルスの影響を受けている観光業界と果樹産地が連携して、松本地域を訪れるお客様に、松本地域の特産のりんごを提供することで、旅行者の満足度向上に併せ、松本地域産の果実の認知度向上及び農産物直売所の利用向上を図る。 | | | | |
| | 現状と課題 | 【現状】管内の温泉旅館組合等では、新型コロナウイルス感染防止対策を講じているものの、全国的な新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等の発出により、日々の人流抑制や県をまたぐ移動の自粛等により宿泊者の大幅な減少が続いている。また、消費者の消費行動の変化により、高級品を中心に果実の販売に懸念材料があることから、地元での果実の販売促進を図ることが必要である。 【課題】令和2年度に引き続き、減少傾向にある旅行者の満足度を高めることにより、リピーターの増加や宿泊施設への高評価の獲得による、宿泊者数の増加に取り組む必要がある。併せて、果実の販売促進を図る必要がある。事業実施に当たっては、感染者数の減少や医療環境の改善等により、宣言等が解除されるなど事業実施が可能なタイミングの把握が重要である。 | | | | |
| | 内容 (変更後の内容) | Withコロナ、Afterコロナの状況を踏まえ、松本管内で生産されたりんごを、管内の宿泊施設を利用するお客様に対し、果樹産地、旅館組合等と連携してウェルカムフルーツとして提供。併せて、周辺の直売所等の情報を提供して消費の拡大を図る。 政府は、R3年9月末で首都圏等に出されていた緊急事態宣言を全て解除したことから、このタイミングで本事業を実施。 | | | | |
| | 事業期間 | R3. 10月 | | ～ | R3. 12月 | |
| 事業費等 | (単位:円) | | | | | |
| | 事業を構成する細事業名等 | 実施内容 | 計画(実績)額 | 備考 | | |
| | 信州旅の宿フルーツでおもてなし事業 | 果実購入及び果樹産地情報 | 1,079,280 | りんご購入、直売所案内パンフ作成 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 合計 | | 1,079,280 | | | |
| 指標及び達成状況 | 成果指標 | | 目標値 | 成果 | 達成状況 | |
| | 宿泊施設への間取りによるお客満足度 | | 満足度8割 | 85.2% | ● 達成 | |
| | | | | | ○ 一部達成 | |
| | | | | | ○ 未達成 | |
| 事業実績・成果 | 1 本事業参加施設数等 (1)団体数:7団体 (浅間温泉旅館協同組合、美ヶ原温泉旅館協同組合、上高地観光旅館組合、白骨温泉旅館組合、安曇野市観光協会、筑北村観光課、生坂村観光協会) (2)施設数:31施設 (3)果実提供数等 2産地(JA松本ハイランド及びJAあづみ)から、りんご(約7千個)を購入し、参加施設へ配布 | | | | | |
| | 2 成果 ・施設を訪れた観光客に対し参加施設からりんごを渡していただき、その感想等をアンケートで確認 ・アンケートの記載内容から、8割を超える観光客から「美味しい。良い企画」等の評価を得た一方で、提供したりんごの品質を好まない声(酸っぱい、ボケ等)や、他品目(ぶどう)を希望する声があった。 | | | | | |
| 今後の方向性 | Withコロナ、Afterコロナにおいて次年度も実施予定 | | | | | |